

学びたくなる、考えたくなる — 紙面構成の工夫

三つの発問で「学びの流れ」を作り、子どもたちが学習に取り組みやすくなるように工夫しました。

読みやすい！
すべての教材を見開き単位で構成しています。



気づく

- 1 導入
教材に入り込むために役立つ発問例を示しました。

「道徳の学び方」が動画に！
→ p.21

考える・深める

- 2 考えてみよう (中心発問)
教材のねらいに迫るための手がかりとなる発問例を示しました。

見つめる・生かす

- 3 見つめよう・生かそう
学習を通して気づいたことや考えたことを確かめ、これからに生かしていくための発問例を示しました。

豊かな学び合いの
ある授業で
自己肯定感
UP

学び方をわかりやすく示すことで、誰一人取り残さない授業に。みんながすでにもっているよさが引き出される、豊かな学び合いを実現します。

新教材

4つの視点のマークと色分け

A～Dの視点を、子どもにわかりやすいアイコンと色分けで示しました。

新 キーワード

内容項目を児童向けのわかりやすい言葉で掲載。学習の手がかりを示しました。

教科書 QRコンテンツ

ここからQRコンテンツサイトにアクセスします。

→ p.20・21

3

やさしさのバトン



思いやり

1

「やさしさのバトン」とは、どのようなものだと思いますか。

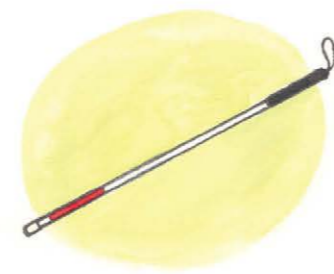
山崎さんが目の病気でこまづいていて、小学生が声をかけてくれました。それから、サポートは何年もつづきました。



女の子

和歌山県和歌山市の目がふじゆうな男の人が、十年いじょうにわたり、地元の小学生に助けられながらバス通きんをつづけました。
ある女の子に声をかけられたことが始まりで、その子のそつぎょう後も「やさしさのバトン」がつなげられたのです。

和歌山県和歌山市の山崎浩敬さんは進行性の目の病気で、目が見えにくくなり、四十才前に通きんして使っていたバイクを運転できなくなりました。いったん仕事を休み、くんれんしせつで白いつえの使い方やだんの生活のすし方方を学びました。二〇〇六(平成十八)年には仕事にふつきし、二〇〇八(平成二十)年からは、一人でバス通きんをするようになりました。



この八年間サ
子がそつぎよ
いだわけては
助けなさい。』
す。その後、
ついでいます。

通きんを始めて一年がたった朝、バスでいで待っているとき、「バスが来ましたよ」と女の子の声がありました。「乗リ口は右です。かいだんがあります。」とざせきにあんないしてくれました。同じバスで小学校に通う三年生の女の子で、おるるバスでも同じでした。それから、女の子は、毎日、山崎さんに声をかけて助けてくれました。その子は三年後にそつぎょうしましたが、新学期には同じ学校のべつの子どもが助けてくれました。

山崎さんは二〇一四(平成二六)年に目が見えなくなりましたが、子どもたちのサポートはつづき、なげない会話が楽しみなったそうです。

がんばれそうです。」と話しています。

*定年 会社や役所などで、やめることになっている年。

考えてみよう
このお話で、えがおになった人はだれかな。えがおになった人の気持ちを考えてみよう。

2



見つめよう・生かそう
自分たちのまわりで、「やさしさのバトン」につながることは何だろう。

3



作：二〇二二年一月十日 読売新聞にみる ● 監：藤原ヒロコ

リード文とおもな登場人物

児童の教材内容の理解を助け、考えたり、話し合ったりする時間をしっかりと確保します。

道徳科における、主体的・対話的で深い学びをめざして― 子どもたちの思考を深めるための手立てを、参考例として具体的に示しました。

「ぐっと深める」



動いてみて
役割演技を通してぐっと深めて
見つめよう
生かそう
につなげる！

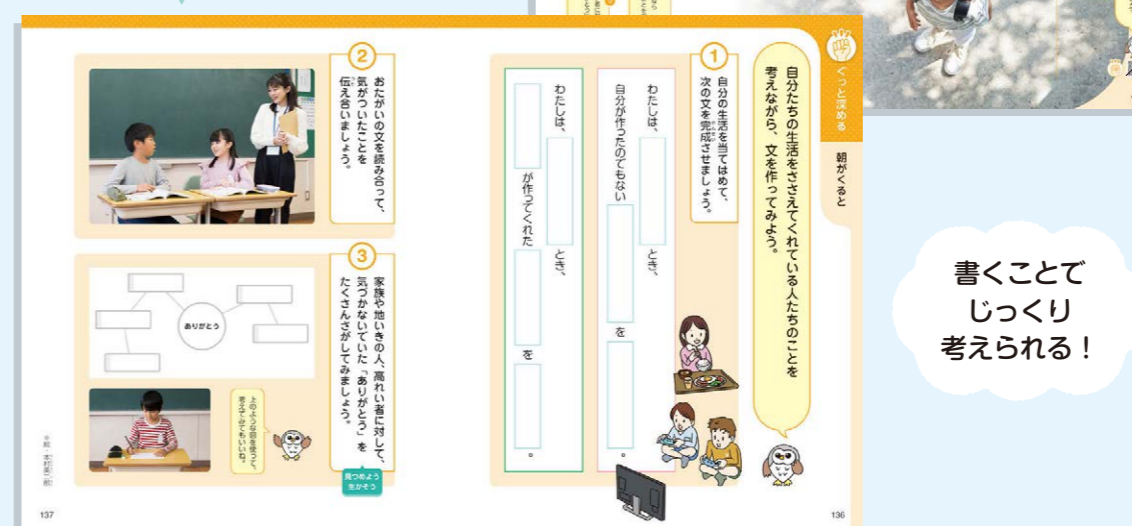


2年 p.62-65 「14 あぶないよ」

演じることで
実感をもって
考えることが
できる！



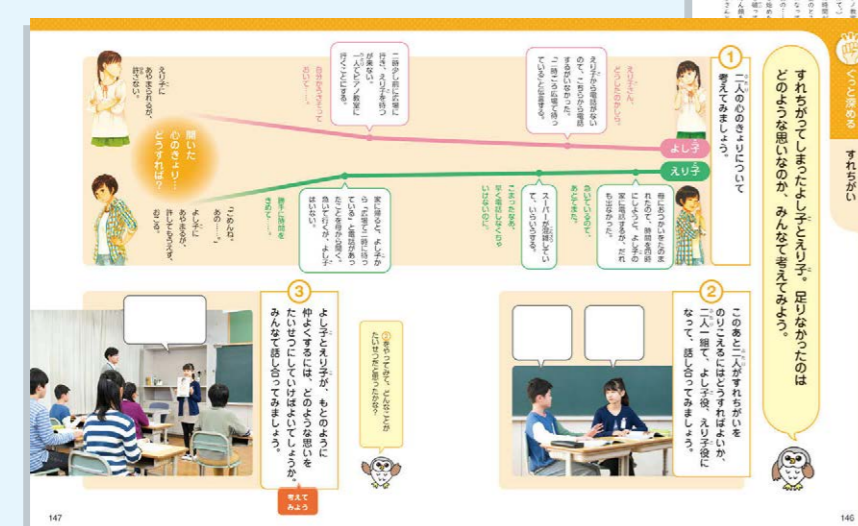
書いてみて
言語活動でぐっと深めて
見つめよう
生かそう
につなげる！



4年 p.134-137 「27 朝がくると」

書くことで
じっくり
考えられる！

整理することで
わかりやすく
考えられる！



5年 p.142-147 「31 すれちがい」

整理して
図式化してぐっと深めて
考えて
みよう
につなげる！

新「ぐっと深める」
ねらいにぐっと近づいた深い学びを実現するために、読み物教材による学習に加え、**問題解決的な学習**や**体験的な学習**の手法、**多様な実践活動を生かした学習**の要素を取り入れた多様な参考例を具体的に例示しました。

Table with 3 columns: 各学年 (Grade), 5教材に設定 (Number of materials), and 1年 (1st year). Lists various titles and page numbers for 3rd grade (3年) and 1st year (1年).

各学年
5教材に設定
(1年のみ6教材)
他者との学びで
他者と対話しながら協働する場面を豊富に設定しました。自分とは異なる新たな考えや価値に触れながら、さらに自分を見つめていく、本質的でより深い学びへと誘います。
自己肯定感
UP

道徳科の学びを広げ、深めるコラム — 「心のベンチ」

道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えることができるよう、さまざまな知識や活動などを取り上げました。教材はもちろん、道徳科以外の教育活動などともつなげて学ぶことができます。



心のベンチ 地いきを語ろう

みなさんは、自分の住んでいる地いきのことをどれくらい知っていますか。

- 1 すきな地いきの行事
- 2 お気に入りの場所やお店など
- 3 地いきのじまん

地いきのためにがんばっている人

地いきへ「ありがとう」と思うこと

こんな地いきになったら、もっとすてきな

地いきを語ろう (3, 4人のグループ)

- 1 左のページの6まいの絵を使う。
- 2 サイコロをふって出た目のところに書いてあることについて、1分間話す。
- 3 聞いている人は、つけ足したり、しつもんしたりする。

●すてきなと思ったのは……

____ さんの ____ の話

●どんなところが、すてきだと思いましたか。

あなたの地いきのすてきなところをもっと、みつめてみよう。おうちの人や、地いきの人に聞いてみるのもいいね。

ほかの教科などのかんれん 社会・そうごう

3年 p.148-149 心のベンチ「地いきを語ろう」

家庭・地域との連携 → p.24

ほかの教科などのかんれん 社会・そうごう

カリキュラム・マネジメント

「心のベンチ」ページ右下に
ほかの教科などとの関連を表記



心のベンチ ふわふわ ちくちく

あなたなら、どんな ことばを かけるかな。

ことばには「ふわふわ」な ことばと、「ちくちく」な ことばが ありますね。

じゃま ありがとう やったね
だめだね いっしょに あそぼう だいじょうぶ
だまれ いやだね すごいね
あっちへ いけ むかつく がんばったね

「ふわふわ」な ことばを 言われると、どんな 気持ちに なりますか。

「ちくちく」な ことばを 言われると、どんな 気持ちに なりますか。

みんなが「ふわふわ」な ことばを かけあえると いいね。

ほかの教科などのかんれん 国語・とくかつ

2年 p.134-135 心のベンチ「ふわふわ ちくちく」

心のベンチ 見方を変えると

あなたは、友達のことを見て、「すごいな」「うらやましいな」と思ったことはありませんか？それは、その友達があなたの苦手なことを得意としているからでしょうか。でも、友達もあなたのことを「すごいな」と思っているかもしれません。

あなたのよさを、友達は知っています。

次は、別の言葉を、別の言葉に言いかえてみましょう。

ほかにも、いろいろな言葉を別の言葉に言いかえてみましょう。

同じものを見ているはずなのに、ちがって見えてきます。

この絵をじっくり見てみましょう。

コップに入った半分の水。

あなたは、「あと半分もある」と考えますが、「もう半分しかない」と考えますか。

でも、相手の話をきちんと聞いて、相手の気持ちを考えることは得意だよ。相手の力をかかせ、相手をえがおいてあげることもできるよ。

「自分で見方を変える」って、おもしろいね。なんだか、気持ちが楽になったよ！

「自分で見方を変える」って、おもしろいね。なんだか、気持ちが楽になったよ！

もろことをいろいろな角度からながめて、とらえなおしてみよう。新しい自分に気づけるよ。

ほかの教科などのかんれん 国語・徳道

5年 p.18-19 心のベンチ「見方を変えると」

リフレーミングで視野を広げて

現在のありのままの自分を見つめ、とらえ直してみると、今まで気がつかなかった自分のよい面を知ることができます。

自己肯定感 UP

心のベンチ 一覧

いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感の5つのテーマで各学年に1点ずつ掲載、系統的に配列しています。

テーマ/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
いじめ	なかなかお	ふわふわ ちくちく	心の声に耳をかたむけて	なくそう！ いじめ	いじめは止められる！	いじめと法律
情報モラル	よい ことかな どうか	「ありがとう」をつたえよう	ゲームがやめられない	インターネットの向こう側	親しき中にもマナーあり	めざせ！ 情報モラルの達人
SDGs	わたしの すきな ○○	いろいろな しごと	さいがいに そなえて	きれいな水	わたしたちの未来を守るために	平和に向けて -私たちが知り、 つないでいく-
多文化共生 (国際理解・ 伝統と文化・郷土愛)	せかいのお はよう	日本の いろいろな おまつり	地いきを語ろう	世界の国々の「子どもの日」	世界のことわざ	みんな、自由。 みんな、平等。
自己肯定感	わたしはお つたいの たつじん	あなたの クラスの だあれだ	おしゃべり すごろく	自分をホメホメ 大作戦	見方を変えると	夢に向かって -自分をほげます 言葉-

「いじめを未然に防ぐ」取り組み 情報モラル、多文化共生、自己肯定感のテーマからもいじめの未然防止につながる内容を扱い、さまざまな切り口から考えることができるようにしました。